

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 都市計画課

会議の名称	茅野市景観審議会		
開催日時	平成30年10月31日(火) 午後6:30～午後7:15		
開催場所	茅野市役所 704 会議室		
出席者	<b>【審議会】</b> 宮坂佐知子委員、平出美彦委員、松野隆治委員、北原享委員、網谷雄生委員、平澤俊一委員、寺島満佐雄委員、五味功委員、大塚敏子委員 <b>【事務局】</b> 市長柳平千代一、都市建設部長篠原尚一、都市計画課長田中正貴、公園景観係長柳平一貴、公園景観係吉瀧達朗		
欠席者	倉田紀子委員、三井正広委員、森元隆委員		
公開・非公開の別	公開	・ 非公開	傍聴者の数 3人
議題及び会議結果			
	協議内容・発言内容(概要)		
1 開会			
2 審議会の公開について			
3 議事録署名委員の指名 五味委員、大塚委員			
4 市長あいさつ			
5 案件			
(1) 経過報告について 田中都市計画課長から現計画の内容、これまでの経緯について説明 ・現計画については別紙参照。色彩については景観計画の基準に沿って進める方向。 ・9月に近隣住民説明会、10月に市議会全員協議会へ報告を行った。 ・全員協議会からは、市のルールを守るように求める意見などが出された。			
(2) 議案について <b>【現地確認等をふまえた各審議委員の意見】</b> ・元々工場が多くあった場所。人口問題等を鑑み、工業団地内においては特例として認めていかなければならない。 ・企業誘致も景観もどちらも大事だが、現地を見るとさほど景観にインパクトを与えない印象であり、(今回は)例外でというやり方もある。 しかし、原則なしで条例を曲げることは悪い事例として残る可能性がある。あまり景観に影響がないのに問題になるのは、少し(条例の)網掛けが一律的過ぎたかもしれない。			

・数字だけで見ると違和感を感じるが、色的なものなどに努力の跡も見えるし、現場を見たところでは(例外ではあるが)致し方ないと思う。

・ちょっとボリュームがあると思ったが、現地を見るとさほど違和感がない。

そもそも条例自体も、基準をクリアしたものを並べたから良い街並みになるとは思わないし、個々の判断が必要になる物件に関しては、今回のように許可できる形が良いのでは。逆に、数値をクリアしていてもおかしくなるものについても審議が入るべき。

・数字をみると高く感じるが、現地ではそこまで違和感はない。今回の現場に限るが、建設は許容範囲だと思う。

・今後のことを考え、歯止めとして茅野市として譲れないものを決めるべき。今回は景観百選などには触れていない点も、(建築に)支障がないと理解している。次の事例に備えて、特例とするのか、説明できる内容にする必要、もっと言えば景観を保全するための配慮を入れられると良い。

近隣住民の同意も大切だと考え、工場(企業)だけでなく、市からの説明も必要だと思う。

・(現地を見て)景観に影響なく、茅野市にはメリット(人口増、理科大生の就職先確保など)があるように感じる。

・この場所ならではの特異的な事例だと思う。他の工業団地でも(判断の基準も含めて)難しいのではないかと。色彩への配慮もされたということで、民地への配慮の考え方について、説明会の範囲の基準などを教えてほしい。容積率をクリアしていれば、今回はOKと考える。

・現地確認前には、茅野市の景観にはそぐわないと考えていたが、みんなが今の意見に変わったのは、八ヶ岳景観を邪魔していないことが大きな要素だったのではないかとと思う。

(最終的なまとめ)

どこでも良いわけではなく、今回に限っては仕方ないといった意見が大半。八ヶ岳景観や景観百選などを踏まえて、歯止めをかけるための文言を考えなければならない。

次回には、対処するための見直しの内容を提示し、最終的な方向付けをしていく。

(今後のスケジュールについて)

11月の地元説明会の内容や住民の方の反応を踏まえ、その後に次回の審議会を開催したい。その際は、素案をいくつか用意して審議にかける。

【その他】

(田中都市計画課長から)

市役所前通りの植栽について、市民を含めた検討会を立ち上げる。

景観審議会から誰か1人をお願いしたい。

⇒平澤委員に決定